琴浦町教育委員会評価項目

平成28年度評価項目

(1) 平成28年度教育委員会の評価項目

	評価項目	目標	実績	到達度	成果
1	**教育行政の使命に関する委員研修の充実** ○ 研修への積極的な参加と諸課題の研究 ・各種研修への参加 ・いじめ、体罰、不登校等の研究 ・指定管理者制度、民間委託等の研究	・対前年度維持向上 (H27延べ23回)	・延べ20回	○	B
2	**学校・地域現場の実情や課題の的確な把握** **○ 保育園、こども園、小中学校の実情の把握と課題の解決** ・学校計画訪問(年２回×７校)、保育園訪問（１園） ・学校行事、地区公民館行事ほか各種行事への参加	・対前年度維持向上 (H27計画訪問15回)	・計画訪問15回 ・各種行事参加	○	A
3	**教育委員会評価の実施** ○ 年度事業の重点化を図り指標を定めて到達度と成果を評価	・重点化を図り実施	・重点化を図り実施	○	B
4	**総合教育会議の運営** ○ 総合教育会議を開催し、町長部局と教育委員会が教育課題を共有し、民意を反映した教育行政の推進を図る	・年2回以上	・年2回開催	◎	A

(2) 琴浦教育基本目標に基づく評価項目

A ふるさとを愛し、未来を拓くたくましい琴浦っ子の育成

	評価項目	目標	実績	到達度	成果
1	**地域に根ざした教育活動の推進** ○ 地域の教育資源を活用した体験活動や教育活動の推進と、その教材化	・体験活動等の実施状況調査	・児童用歴史教材の改訂版作成、配布	○	B
2	**豊かな心を育む教育活動の充実** ○ 芸術鑑賞の機会の提供（開催学校数･割合）	・前年維持 (芸術団体の状況による)	・7校中6校で実施	◎	A
3	**一人一人の確かな学力の向上** ○ 児童生徒の学力状況の把握や課題の明確化に努め、学力向上対策の推進	・対前年度維持向上 小　98.9% 中　96.8%	・家庭学習をしている児童生徒 小　99.7% 中　96.6%	○	B
4	**学びと育ちの一貫性を重視した教育の推進** ○ いきいき遊び、脳活・スキルアップ学習の充実と推進	・実施する保育士、教員の増加	フォーラム参加者の実施率 保育園81% 小中学校91%	◎	B
5	**開かれた学校づくりによる学校運営の充実** ○ 一斉公開の実施(年２回)による評価アンケート６項目について「Ａよくあてはまる」の平均値の向上	・対前年度維持向上 (H27 66.0%)	68.8%	◎	A
	学校評価の実施状況 ○ 自己評価と学校関係者評価の実施	・計画訪問において実施状況を確認、指導助言	・計画訪問等で評価による成果と課題を共有し助言できた	○	A
6	**乳幼児教育の充実** **○ 個別の支援計画を基にした連携**	・個別の支援計画の作成	支援学級児童生徒100%移行支援会議の活用も進む	◎	B
7	**食育の推進と充実** **○ 栄養教諭による食に関する指導の充実**	・栄養教諭とのＴＴ授業、給食指導50回以上	栄養教諭とのＴＴ授業18回 給食時間の指導174回	◎	A
	地産地消の推進と食育の充実 ○ 地域食材使用率の向上	・前年度維持 H27年度77%	・75% H29.1末現在	△	B
8	**今日的な教育課題の解決** ○ 不登校への対応 ・長期欠席児童生徒（３０日以上欠席）数の減	・前年度以下 (H27) 小8人 中28人	・27人 小学校5人 中学校22人 (H28.1月現在)	○	B

B 学びあい・高めあい『幸せ』感じるまちづくり

	評価項目	目標	実績	到達度	成果
1	**生涯にわたる発達段階に応じた社会教育の推進** ○ 重点目標記載の各種事業の全町民比参加率	・対前年比増 (H27 20.3%)	・25.5%	○	A
2	**地域づくりと生涯学習推進を目指した地区公民館活動の充実** ○ ことうら“まなびリスト”（必要課題に基づいた講座リスト）提供・活用による、公民館での学習内容の深化と課題解決能力の向上	・まなびリストに基づいた講座を各地区公民館で１回以上実施	・９地区公民館でまなびリストに基づく講座等を開催した。	○	A
3	**自立した学習を支援する図書館活動の充実(全体)** ○ 個人年間貸出冊数（人口１人当たり）	・貸出冊数県平均以上	H27-6.0冊 県平均5.7冊	◎	A
4	**豊かな情操を育む地域文化の振興と文化財の保護** **文化祭関係** ○ 町公共施設での発表会出演者数、展示会の出展者数	・対前年比増 (H27 605人)	・586人	○	B
	文化財保護・活用の推進 ○ 文化財の保護、指定等課題の研究解決を図る ・文化財保護審議会 ・大高野遺跡保存整備活用検討委員会	・年2回以上開催（保護審議会、活用検討会とも）	・町保護審議会（２回開催） ・保存活用計画検討委員会（３回開催）	○	A
5	**心身の健康増進を図るスポーツ・レクリエーションの振興** ○ スポーツ・レクリエーションの振興（スポーツ大会開催、レクリエーション・スポーツ教室開催、体力つくり教室、ノルディックウォーク体験会開催）	・各種大会・教室参加ﾁｰﾑ数対前年度比増 ・スポーツ自主運営団体数増	・各種大会30 ・ｽﾎﾟｰﾂ教室18 ・その他教室11 ・ｽﾎﾟｰﾂ自主運営団体126	○	B
6	**男女共同参画社会の実現** ○ 地区公民館新規啓発事業の適正な実施	・新規啓発事業の適正な実施	・３地区公民館と合同で講演会を開催。	○	B

C 誰もが安心して暮らせる人権を尊重するまちづくり

	評価項目	目標	実績	到達度	成果
1	**町あらゆる差別をなくする総合計画の改訂** ○ 「町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」基づき『町あらゆる差別をなくする総合計画』の改訂を行う	・H28年度中に総合計画の改訂を行う	H28年度中の改訂に向け、改訂作業を計画的に実施している。	◎	A
	人権・同和教育の総合的、計画的な推進と推進体制の整備、充実 ○ 人権・同和教育講座（指導者養成講座）の開催による、推進者の資質向上	・講座受講者満足度80%以上維持	実施していない	×	D
2	**地域社会における啓発並びに学習機会の提供** ○ 人権フェスティバル（差別をなくする町民のつどい）の参加者アンケートにおける満足度の維持	・80%以上維持	94.9%	◎	A
3	**部落解放・福祉の向上・児童の健全育成・人権啓発のための住民交流の拠点としての文化センター事業の充実** ○ 文化センターで開催する講演会や研修会等の参加者アンケートにおける満足度（東伯・赤碕文化センター）	・70%以上	赤碕文化センター 96%	◎	A
			東伯文化センター 82%	◎	A

①「到達度」欄には、目標及び過程の到達度について、次の評価基準で評価する。

「◎」順調　　・・・設定された目標に到達した
「○」概ね順調　　・・・設定された目標に到達したが若干の課題がある
「△」やや順調でない・・・課題が少なからずあり、設定された目標への到達がやや順調でなかった。または、目標に到達したが新たな課題が生じた
「×」順調でない　　・・・課題が多く着手できなかった

②「成果」欄には、取組みにより得られた成果について、次の評価基準で評価する。

「A」・・・当初の目的・目標を達成した
「B」・・・当初の目的・目標に向けて相当の進展があった
「C」・・・当初の目的・目標に向けて一部の進展に止まった
「D」・・・当初の目的・目標に向けて進展がなかった